

ワークショップ（ホームページでの事前情報提供）

2025 年 10 月 15 日

ホームページに掲載する来館前に知りたい情報について、事務局案を説明しました。

4 班に分かれて、ホームページの掲載方法、情報の項目、ユニバーサルデザインマップ、センサーマップについて、みんなで検討しました。



写真①:班ごとのワークショップの様子



写真②:班ごとのワークショップの様子

● 主な意見

○情報を見つけやすいホームページ

- ・どのページからでもユニバーサルデザインのページに移動できたほうがよい
- ・必要な情報のページに少ない操作で移動ができたほうがよい
- ・イラストを配置する場合、音声読み上げが正しくされるかの確認が必要

○ユニバーサルデザイン情報

- ・UDワークショップの取り組みをアピールしたほうがよい
- ・「ナビレンス」という文言は解りやすい言葉に変更したほうがよい
- ・「アシスティングドッグ」という文言は日本語に変更したほうがよい
- ・「音声ガイド」という文言は、美術品説明のイメージを持つので変更したほうがよい
- ・災害時の避難経路を掲載したほうがよい
- ・ナビレンスの使い方を掲載したほうがよい
- ・カームダウン、クールダウンルームの内容・使い方を掲載したほうがよい
- ・展示に関する説明を掲載したほうがよい

○ユニバーサルデザインマップ

- ・動線があった方がわかりやすい
- ・入口がわかるほうがよい
- ・スロープは上りか下りかをわかるようにしてほしい
- ・ブース等の区画の線は無いほうが見やすい
- ・階段の表記は、車いす利用者の心理的なハードルが上がるので、強調しないほうがよい

○センサリーマップ

- ・光や音の刺激の強さがわかるようにしたほうがよい
- ・光が点滅する場合は、わかるようにしたほうがよい
- ・アップデートするのが難しいが、人混みの状況がわかるほうがよい
- ・光や音の刺激の強さがわかるようにしたほうがよい
- ・専門機関に助言をもらって作成すべき
- ・案内の動画があれば安心できる